

第8章 信頼される市政運営

将来展望

市民との協働や役割分担のもと、健全な財政運営や適正な人事管理などにより、効率的・効果的な行政経営が行われ、最少の経費で最も効果的な市民サービスが提供されている社会を形成します。個人情報や安全に管理されているとともに、情報通信基盤やシステムなどの整備により、市民が必要な情報を活用できる社会を形成します。

基本施策の展開戦略

地方分権時代に対応した自治体経営を推進するために、総合計画や年次毎の明確な方針などを通じて市政の方向を明らかにし、政策を実現するため、適正な予算および人の配分によって「ヒト・モノ・カネ・情報」を整え、全庁的な改革への取り組みを促進するとともに、部局間の連携を図りながら効率的・効果的な行財政運営をめざします。

市民生活を維持する財源確保のために、公平かつ公正な市税の課税と収納を行います。また、情報公開・個人情報保護制度の適正な運用に基づき、IT（情報技術）を活用した行政運営の効率化と地域の情報化を推進することによって、電子自治体を構築し、市民と行政が情報を共有してお互いの役割と責任を自覚しながら深い信頼関係をもって協働できるまちをめざします。

